コラム

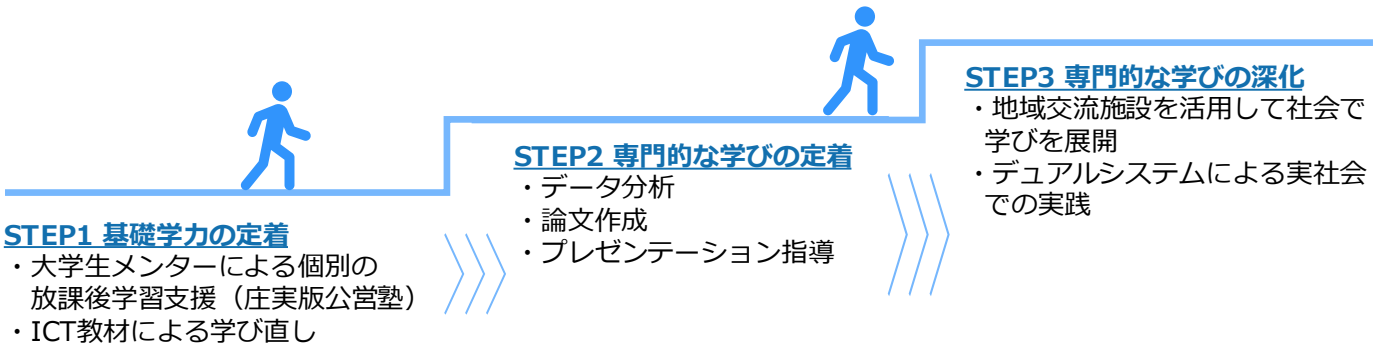
地域交流拠点を核とした次世代農業人材育成の学び

学校と地域が連携・協働した学力向上・学習支援の例

広島県立庄原実業高等学校（しょうばらじつぎょう）

全日制／農業科

- 地域交流拠点を活用し「庄実版公営塾」を設置。 大学生による**普通教科**や**専門教科**の**学び直しや個別学習支援**を行う。これにより、生徒一人一人の**学習意欲と基礎学力の向上**を図る
- **県立広島大学との共同研究室**等において、**大学教員**や**大学生の支援**を受けながら、データ分析や論文作成、プレゼンテーションのノウハウ習得など**探究活動を更に深める**
- 休日には、**農業法人や企業と連携した有償も含む実践的な活動**を通じて、地域産業への理解や社会性を育む



STEP1 基礎学力の定着
・大学生メンターによる個別の放課後学習支援（庄実版公営塾）
・ICT教材による学び直し

STEP2 専門的な学びの定着
・データ分析
・論文作成
・プレゼンテーション指導

STEP3 専門的な学びの深化
・地域交流施設を活用して社会で学びを展開
・デュアルシステムによる実社会での実践

高校生の未来の姿（指標の例）

○「先端生産創造科（仮称）」の就農可能率
（就農もしくは農業関連の企業への就職
又は農業関連の高等教育機関への進学）

(現状) 13% ⇒ (R10) 25% ⇒ (R13) 50%



（出典）都道府県の提出書類及び生成AIにより作成した画像をもとに文部科学省において作成